

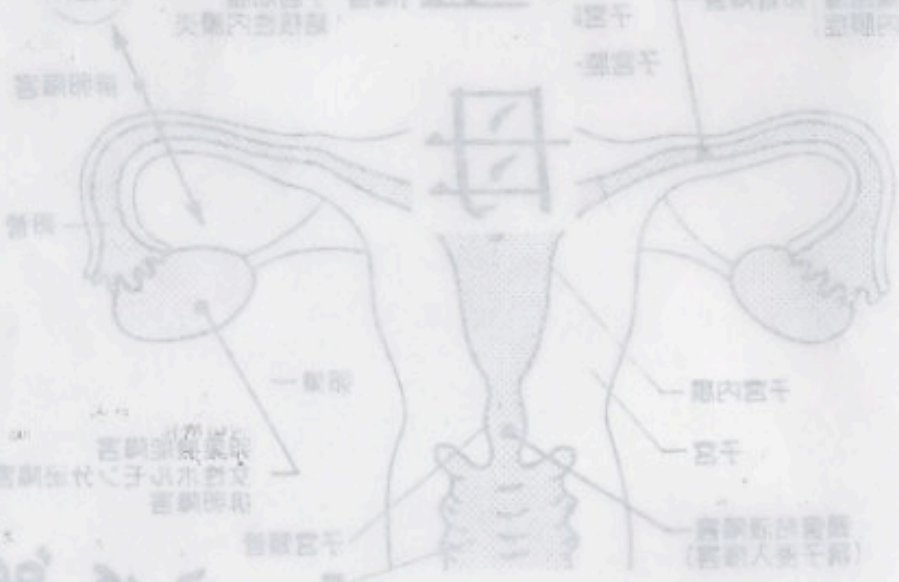
はじめに

代理母出産はアメリカでは1976年から行われており、様々な失敗や成功を繰り返しながら医療技術、法律面の整備がなされてきた。

近年、雑誌や新聞、テレビなどで、代理母出産はセンセーショナルに取り上げられまたこの方法は多くの賛否両論を呼んでいる。しかし、情報を伝えるだけでは私達に身近に感じさせることはできない。

「子供がほしい!!!」という強い欲求がありながらも産めない女性。その苦しみは何よりも耐え難いものになってくるだろう。現代の女性は、ダイエットや薬物、ファッションなどにより不妊症になりがちである。自分が将来不妊症になった場合、「代理母」というものの存在がとても身近になってくる。そんな時、あなたはどうか対応するか。

この発表を通して、あまり知られていない代理母のことについてもっと身近に考えてほしい。



1.

不妊症

代理母を理解するためにまずは不妊についての知識をもたなくてはならない。不妊とは何か。そしてそれが代理母にどう関係するか。まず最初に不妊について理解してもらいたい。

そもそも不妊症とはなんだろうか？国際不妊学会によると、「避妊をせずに健全な生活を送っている夫婦で2年たっても子供ができない状態。」としている。その根拠は、避妊（コンドームや薬を使って子供をつくらないようにすること）をしない夫婦であれば通常1年以内に70%から80%、2年以内には80%から90%が妊娠するとされているために、残りの10%の夫婦を「子供のできない不妊症」とみなそうとしている。つまり、不妊症のカップルは10組に1組ということになる。しかし、それは体外受精などの治療技術がここ10年余りで急速に進歩してそれによって子供を授かっている夫婦がいるのにもかかわらず昔と数字はほとんど変わらない。というよりもかえって増加傾向にあるという。そのため実際にも不妊症夫婦は10組に1組よりも多いはずとされている。

妊娠成立に必要な条件

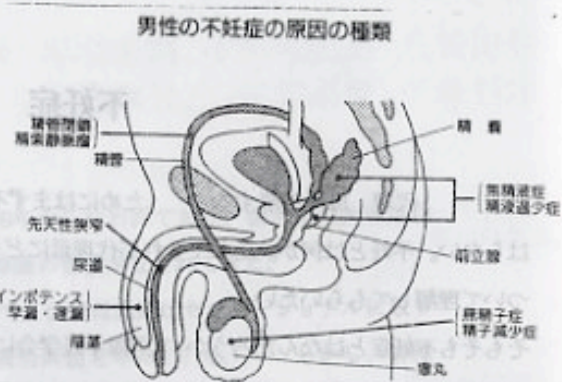
1. 排卵がある
2. 卵管が自由に動き、排卵された卵子を卵管内に取り込むことができる
3. 膣から卵管膨大部までたどりつることができる運動力の良い精子がたくさんある
4. 膣内に射精ができる
5. 卵管が通っており卵子と精子と卵管内で結合できる
6. 受精卵が着床できるような血液に満ちた子宮膜がある

つまり排卵がなかったり卵管が詰まっている女性や、良い精子が不十分あるいはうまく射精できない男性の場合、また生まれたときから子宮や膣がないロキシタンスキーンドラムの女性を例にあげてみたがこのような人達が不妊治療を必要としているのだ。ここで、男性不妊と女性不妊の紹介をしたいと思う。

2.

男性不妊

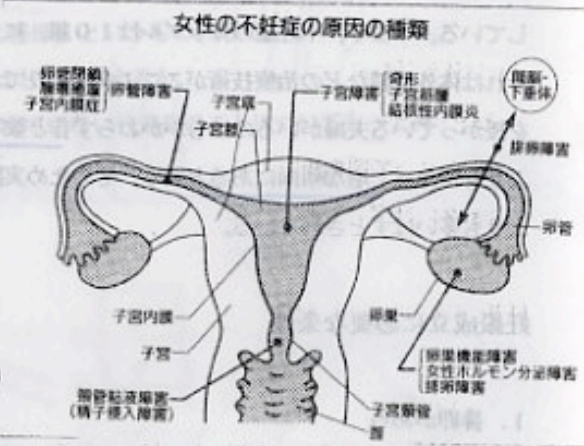
- a. 造成機能障害…精子の数がすくない。運動能力が弱い。奇形が多い。
- b. 世紀通過障害…精輸管などの障害で精子が通りにくくなっている。
- c. 副性器障害…早漏などのため精子が子宮けい部（子宮の入り口）に放出できない。



そのほかにも無精子症や精子減少症などもある。

女性不妊

- a. 排卵因子…内分泌（ホルモン）の異常で排卵がきちんとでない。
- b. 卵管因子…感染症などのため輸卵管がつまり、精子と卵子が受精できない。
- c. 子宮因子…子宮内の炎症や形の異常（ひどい子宮後屈や子宮が2つありなど）のため受精卵が着床できない。
- d. けい管因子…子宮けい管粘液が排卵期に精子を子宮内に通さない状態になっている。



そのほかにも子宮内炎や子宮筋腫などもある。

不妊症になる原因

原因として多く言われているのが思春期に偏食したりダイエットしたりすることがよく言われる。そのほかにも、食品添加物、薬剤、たばこ、また服装で体を締めつけたり体を冷やしたりするものも大きな原因となっている。3.

不妊治療

不妊の克服

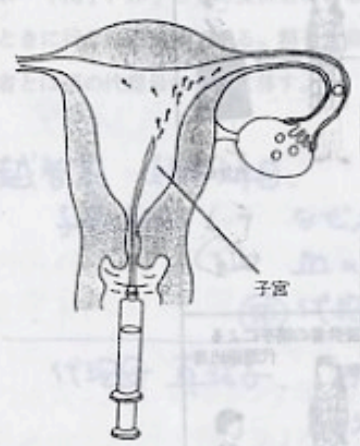
不妊治療の中に人工授精と体外受精 (test tube baby) というものがある。このふたつは代理母出産に使われる方法だ。

人工受精…日本で行われる不妊治療の初歩段階ものであり性交つまり sex をしないで精液を女性の子宮内に送り込む方法。2つタイプがあり夫婦間の夫の精子を使用する場合の (AIH) と提供者の精子を使用する場合の (AID) がある。

体外受精…精子と卵子を取り出し試験管の中で受精させてそれを母体の子宮に戻すという方法。正式には体外受精、胚移植と言われる。

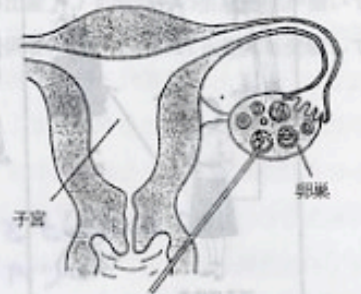
人工授精の方法

注射器で精子を子宮内に注入する



体外受精の方法

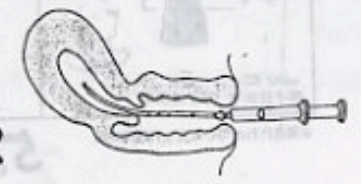
①卵子を採取



②精子と一緒にして受精させる



③受精卵を子宮内に戻す



4

代理母の種類

代理母とは、母、つまり子供を産む人物のこと。この人は代理であるから、産んだ子供をそだてるわけではないのだ。不妊症という理由で子供を授かることができない夫婦が、代理母に子供を代りに産んでほしいと依頼するのだ。依頼する夫婦の妻のほうは、何らかの理由で子宮が機能していないため、子どもを産むことが不可能という問題を抱えている。他にもいろいろ、不妊の要素がある場合もある。

代理母といってもいくつかの種類がある。大きく分けて、四つの方法がある。これらは不妊の種類によって変わってくる。

代理母出産の受精の組み合わせ



※現在行われている主な代理母出産

5.

1. 「夫婦の精子、卵子による代理母出産」 夫婦の精子と卵子を作る性腺と卵巣は正常なのだが、妻の子宮が無いまたは、機能していない状態のとき、夫婦の精子と卵子を体外受精させて、その受精卵を代理母の子宮に移す。これは借腹とも言われる。

2. 「妻の卵子と提供者の精子による代理母出産」 妻の卵巣だけが正常であり、子宮と夫の精囊が機能していないときに、この方法が利用される。精子は他の男性に提供してもらい、妻の卵子と体外受精をして、子宮は代理母に借りる。

3. 「夫の精子と提供者の卵子による代理母出産」 妻の卵子と子宮がともに機能してなくて、夫の機能は正常な場合に使われる。卵子は提供してもらい、夫の精子と体外受精して、受精卵を代理母の子宮に移す。

4. 「精子、卵子ともに提供者による代理母出産」 夫婦両方の生殖機能が働いていないときに行われる方法である。精子も卵子も提供者のもので、これらを体外受精して、提供者とは別の代理母の子宮に移す。

越智家 結婚計画

子宮奇形

なぜ着子もらひな?

血アツナカリ

④代理母 - 母性の商品化

代理母 真理子

おまは産むのに、おまの子ぢやな?

おまは、道具じやなよ

他人の喜びを分たさぬん

てして、うしろの巻上

6.

あなたは代理母になれるか?

代理母として登録した人に対して行われる一番最初の検査。この検査により、代理母や不妊に関する認識はもちろん、人生観や物の見方、考え方までを詳しく調べられる。方法としては、担当のカウンセラーに質問されたことに答えるのだが、これは長時間にわたり、しかも不名点があった場合には、何度も不明点が解決するまで行われる。

インタビューはすべて記憶され、それを代理母・出産を担当する医師やコーディネーターを含めた数人で検討し、代理母として依頼をするかしないかを決める。

テープで録音

【インタビュー内容の例】

- ・あなたはなぜ代理母になろうと思ったのですか?
- ・あなたはどれくらい代理母について理解していますか?
- ・誰かに代理母になることを相談しましたか?
- ・誰かに代理母になることを反対されませんでしたか?
- ・夫や家族とは話し合いましたか?
- ・今までの出産経験を教えてください。
- ・何か投薬を行っていますか?
- ・今までの病歴を教えてください。(アレルギーも含めて)
- ・家族構成や趣味、スポーツ、生活状況を詳しく教えてください。
- ・もしあなたの体に問題が生じた場合、あなたはどのようにしますか?
- ・代理母を中断するとしたらどのような場合ですか?
- ・依頼者に対してどのようなことを望みますか?
- ・依頼者に対してどのような付き合い方をしたいですか?
- ・中絶の必要ができた場合、または胎児に異常が見つかった場合、どうしますか?
- ・依頼者に対して出産後、どう接しますか?

理由
理解
出産経験
病歴
学歴

- ・多胎に対して、減数手術についてどう考えますか?
- ・報酬の使い道を教えてください。
- ・いくらぐらいの報酬を希望しますか?
- ・現在の仕事内容と収入を教えてください。
- ・学歴を教えてください。
- ・代理母になったら仕事をどうしますか?

これは、ほんの一例であり、すべてではない。代理母となることで家族のことや自分のライフスタイルまですべてを聞かれることは人によっては大変な苦痛となる。インタビューの時点で代理母になることを辞退する人もいるが、こうすることによって様々なトラブルを避けることが可能となる。

インタビューを合格した人には、次の制約事項が求められる。

- ・危険なスポーツ活動の禁止
- ・禁煙
- ・過度の飲酒禁止
- ・違法ドラッグ使用禁止
- ・婦人科担当医の許可のない薬を飲んではいけない
- ・一時的禁欲

代理母の?

妊娠が確認されたら、依頼者の夫は、一時的禁欲の合意書の執行日から妊娠確認の日までの期間、性交渉を持たなかったという証明書を書くことに同意しなければならない。このほか、代理母は、妊娠の確立を高めるための検査や投薬などを行い、その度に病院に通うことになる。

代理母出産に関する様々な問題点

*代理母との面会

代理母は依頼者のために一生懸命努力しているわけであるため、精神面のサポートは依頼者が行うのがベストである。代理母によく会い手紙で励ますことが望ましい。依頼する時にも代理母に直接会い、お互いの合意の上で契約する事になる。出産には必ず立ち会う。

*多胎児妊娠の場合の措置

これは子供が双子かそれ以上の場合になってしまった時に考える問題である。契約の時点で代理母と依頼者の間でどのような措置を取るか話し合い、その上で合意したことを契約に盛り込む。双子の場合代理母の母体には大きな影響がない場合が多く、双子で出産にいたるケースがほとんどである。正し双子以上の場合、減数手術を行うこともある。これは関係者みなにとって精神的に悲しい出来事だが、あくまで代理母のコンディションが最優先されるためこのような措置が取られることになる。

*妊娠したが中絶が必要となった場合

このケースも、契約の時点で代理母と依頼者の間で話し合いによって決められる。例えば羊水検査を行い胎児に異常が発見された場合は双方の希望が合致していれば中絶する場合もある。逆に双方とも希望しない場合は産むことになる。何らかの問題が生じ代理母の一方的な理由で中絶を行う場合は双方で再度話し合い、解決する。

*体などに異状がある子供が産まれた場合

出産後、子供に何らかの異常が認められても依頼者はその子供を引き取る義務がある。これも最初の契約の段階で確認され、依頼者のサインをもって子供の親権は依頼者にあると考える。もし依頼者が子供の引き取りを拒否した場合には、契約不履行として法的措置が採られることになる。

*代理母が妊娠中の検査

代理母は妊娠中、胎児に問題がないかを調べる検査を受ける事に対する同意書を事前に提出する。遺伝病の検査も必ず行われる。

*出産後の代理母への責任

代理母が出産後、出産を原因として体に何らかの問題が生じた場合、依頼

→依頼人
決定権あり } 契約
時に
合意

者が責任を取る。代理母は保険に加入する事が義務づけられているが、保険が全ての問題をフォローするものだという保障はない。

*依頼者の死亡や離婚

依頼者が死亡又は離婚してしまった場合を想定し依頼者以外の子供の引き取り人を契約時に決めておかなければならない。

*代理母が子供を渡さない場合

例としてアメリカでは、代理母出産を行った女性が依頼者に子供を渡さず、最終的に親としての権利を認められたケースがある。これは代理母が自分の卵子を使った(遺伝的に代理母の子)人工授精の場合に最も起こりやすいトラブルだといえる。そのため、最近では依頼者の卵子又は卵提供者(エッグドナー)の卵子を使った体外受精による代理母出産が主流となってきている。またトラブルを避けるために代理母の精神鑑定やカウンセリングは重要視され、長時間にわたって行われる。しかし、カウンセリングがうまくいっても人間の感情がどのように変化するかはだれにも分からない。

*代理母が妊娠中病気になった場合

妊娠による病気なのか、本来もっていた病気が、あるいは何かのウイルスによるものなのかを調べ、継続又はキャンセルなどは代理母と依頼者が話し合いを行い、解決方法を決定する。

*保障されないこと

- ・体外受精後代理母が確実に妊娠する
- ・妊娠した場合、その子供が精神的、身体的に健康であり、遺伝的、先天的な病気を持たない
- ・代理母が合意書に指示された条件、規定に必ず従う
- ・依頼者が合意書に指示された条件、規定に必ず従う
- ・無事に出産する(理由なく中絶しない)
- ・代理母が妊娠中に病気にならず怪我などをしない
- ・依頼者に子供を出産時に引き渡す

*代理母と子供との面会

代理母が子供と面会する、また手紙のやり取りなどを希望しているかに関しては契約の前の依頼者との面接で何度も質問される。これは双方の合意の上で条件を取り決め、合意書に加える。

代理母情報 2つ ← アメリカで産んであげる。

代理母出産の費用

*日本とアメリカとの契約のため、全てドル建ての表示
*カッコ内の日本円換算は \$1 = ¥125 として計算されている

1. 代理母への謝礼: \$13,000~ (¥1,624,000~)
代理母に対して支払われる謝礼であり、出産にかかる費用や代理母の検査費用などは別途負担となる。この謝礼は出産後の支払い。
2. 代理母に関わる経費: \$4,000~ (¥500,000~)
移動旅費(1マイルあたり25セント)、生命保険料、出産後の子供の世話代(短期間)、心理カウンセリング・弁護士料などが含まれている。人により条件が異なってくるため、これらは正確には特定できない。
3. 医療検査費: \$2,000~ (¥250,000~)
代理母の身体検査費、心理カウンセリング費、遺伝子検査費、保険の適応外医療費などを含む。胎児に異常があったり、早産などで長期入院や集中治療室などの使用があった場合は1日に\$2,000~かかることもあるから、この費用も特定は難しい。
4. コーディネーター・通訳費: アメリカの平均的相場に従う
ケースバイケースで費用が違ってくる。直接会って契約を済ませる。
5. 滞在費: \$3,000~ (¥375,000) + 食費
出産の前から子供が帰国できるまでの予想滞在費(約3週間と想定)。
6. その他のケースによる費用
 - ・体外受精に失敗し妊娠に至らなかった場合の代理母への謝礼: **\$500** (¥62,500)
 - ・双子など多胎出産の場合の代理母への謝礼: \$2,000 (¥250,000)
 代理母への謝礼に追加して払う。三つ子やそれ以上の場合には、話し合いにより決定される。
 - ・帝王切開の手術費: \$6,000~ (¥750,000~)

アメリカでは禁止。
↓
CAで出産。

・ベビーシッターや看護婦の費用 (1時間あたり): \$10~30~ (¥1,250~3,750~)

・提供者の卵子を使用する場合: \$10,000 (¥1,250,000)
(代理母を使用する時はこの金額が代理母にかかる費用にプラスされる。)

・提供者の精子を使用する場合: \$500~ (¥62,500)

・未熟児が生まれた場合: \$1000(1日)~ (¥125,000)
一日の入院費に加えて特別治療費が加わる。この場合、かなりの金額になる。

7. Woman to Woman Fertility Center エージェント費用: **会社**, \$14,000 (¥1,750,000)

8. その他の費用: 不定
 - ・郵便、電話、FAX代金
 - ・代理母出産の場合には代理母募集の、卵提供者の場合には卵提供者募集の告知広告費用
 - ・体外受精及び妊娠後の薬代
 - ・出生証明書変更の弁護士料 推定\$2,500 (¥312,500)
 - ・妊娠中の検査費
 - ・エージェントの車以外の旅費、宿泊費、食費
 - ・代理母が仕事を持っている場合の休業保障費

12.

11.

代理母情報 27 - マリカの日記

代理母出産の費用

ベビーMの事件



代理母
国2日
面会

13.

(3)

これらの賛成派/反対派の意見は、スキット等から抜き出した一例です。

代理母出産に賛成論

- * 血のつながった[✓]どうしても子供がほしい
- * 啓示 (他人の幸せのため)
- * 聖母マリアは神様の代理母 **正々也**
- * 人助け

代理母出産に反対論

- * 費用が高い
- * 美子をもらえばいい
- * 「かりばら」「母性の商品化」「使い捨ての道具」
- * 子供の本当の「親」は誰か?
- * 苦しみが別の女性に移るだけ

日本では
違法
卵子の提供で-マリア
マリカ
111に子

14.

14

参考文献

1. 「代理母出産」 葛田 麻紀子 平成8年 6月15日
近代映画社
2. 「赤ちゃんがほしい」 松尾 紀子 1996年 1月15日
文藝春秋
3. 「生殖技術とジェンダー」 江原 由美子 1996年 9月 20日
けい草書房
4. 「代理母」 チェスラー P. 1993年 5月20日
平凡社
5. 「不妊と向き合う」 宮 淑子 1992年 10月20日
教育資料科出版社
6. 「不妊」 ケイン R. 1991年 1月25日
株式会社晶文社
7. 「BIRTHMOTHER」 ケイン E. 1993年 12月10日
株式会社同通信社
8. 「母権と父権の文化史」 市川 茂考え 1993年 2月28日
農産漁村文化協会
9. 「母性をつくりなおす」 B.K. ロスマン 1996年 1月30日
けい草書房
10. NEWSWEEK Newsweek Inc. 1987年 2月 5日

感想 — 代理母について調べて —

ボクは「代理母」の存在を知りませんでした。その存在を知った時、最初は「便利ななあ」と思っただけです。とてもしらないうちに、実はとても難しく、奥の深いものだった。個人的には、あまりこの「代理母」というものに賛成できませんが、もしも自分が本当に「代理母」を利用して子供をつくるということを許す人がいるのなら、それなりに便利なことだと思います。でも、本当にそんな人がいるのでしょうか。いるでしょうか。いるからこの制度があるのです。何とか自分で書いてあげられなくなってしまいました。とにかく、「代理母」というものは様々な問題があります。発表のことを考えてた時も、よく混乱してしまいました。賛成できそうな点もあれば、絶対反対!!という点もありました。本当にムズカシイテーマでした。でも、自分なりに米精一杯調べたつもりです。

野田 健介

テーマを決めた時、代理母制度は中絶みたいにケースバイケースの様なものであるとは思っていましたが、それ以上に人間の価値観を変えてしまう問題だと思っていたので、法律上禁止すべきものだと考えていた。でも代理母制度について調べたり班の人たちと話し合っていくにつれだんだんと客観的・客観的な視点から主観的な考えを持つようになった。それはただ偉そうに「又はそれぞれの理由があっても倫理的に問題があるから法律で規制すべきだ」という意見を持つのではなく、身近な問題として「例えば私が」と考えられるようになった事だ。自分の代理母制度に対する考えは始めと変わってはいないけれど、こういう形で考え方は少し変わったと思う。

木村華子

2318 三好真理子

私は代理母出産については基本的には反対だ。なぜかというとなんかお腹を借りて赤ちゃんをどうでも品物のようにあつかってしまいかただと思うからだ。もちろん不妊症の人達の気持ちもわかるし自分の血のつななかった子供が欲しいのもよくわかるが精子が夫の卵子が自分のものであって体外授精すればまるで赤ちゃんは品物のようにし代理母の卵子夫の精子であれば赤ちゃんは代理母の子供にもなるわけだしもう一つ倒してあげれば精子、卵子共に提供者であれば全く血のつなかりはないのだから養育もどめはいいということになってしまう。満足するのは代理母家族くらいで他の人はどうしても納得はいかないものになってしまうと思う。しかしよく言えばこれは不妊症の人達のわかちまたと言えると思う。

2318 三好真理子

私は代理母のテーマを倫理の授業で調べてこの重大さに気づいた。以前は血のつな、た子がどうしても欲しいのなら、この様を行為を行っても良いと考えていた。しかし、実際は社会に混乱が生じさせないことを知った。個人の子供が欲しいという欲求のためだけに、人間を製造する様を行為を行うのだ。しかも、人間が生まれて後問題が発生する。私はこの様を自然に反して、なあかつ人と人の間に抗争を生み出す行為に賛成はできない。私自身代理母についてよく知ることかできて、その反道徳的なことを理解できて、大変うれしく思っています。

ID2323 越智洋平

代理母を調べてから、不妊というのは自分が思っている以上に身近にあることを失われた。当たり前のように結婚をしたら子供が産まれるものだと、思っている自分がいるから、子供がほしいのだと思う。だからたとえ、不妊症でも代理母を通して自分の子供を抱いてほしい。代理母は他人の為に苦しみになくて、すばらしいギフトを不妊症の夫婦にあげるのだ。子供を産むことはとても勇気がいることで、その勇気をふりしほって、苦しい役を自ら進んでするのだから、良いことだと思う。けれど、商品化することには断じて反対である。体の一部を使ってお金をかせぐのはおかしいと思う。

橋本 つか

私は「代理母出産」なんてまるで映画の世界の話だと思っていたが日本でも根が問題になってきた。しかし一度そのものを理解すると心は複雑になる。賛成とも反対ともいえない。なぜならば「子供が欲してもできない親に与ってはまるで人生そのものがとどろき「暗闇」そのものになると思う。そういう人々による誰かでもいかに育みたいという気持ちは分からないわけがない。でも反対に本来和善人間が育ってきた「子供は自分で生む」という教え・習慣を考へてあると、その出産は常識外になる。赤んぼは決して品物ではない。他人に頼んでできる」なんていう医学が発達したからといて許されるべきなのかな。私はそれは思えない。人間はどこまで「自然」をわが牛にする、又は変えていいのだろうか。この問題は今不妊症が増えている中、考へてゆくべきものだと信じている。だから皆さんにも真剣にヒヤヒヤ考へてもらいたい。一歩からでも

大河 紗織

98. 2. 18